

考古学演習1B－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-336

選択必修 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

春期では、論文の読み方、資料の使い方を学んだので、秋期では旧石器時代・縄文時代の中から課題を見つけて検討する。これによって研究の現状と問題点を深く理解する。卒業論文を希望する学生は、この過程でそのテーマを検討してほしい。

受講者のグループ分け(個人でも可)を行い、各グループで課題を設定し、それに関する発表を行う。発表後は、討議を行い、課題に対しての理解を深める。課題は旧石器時代・縄文時代に関するものであるが、自然環境復元、方法論に関するものも含める。また具体的資料の検討、実験結果の発表でもよい。これ以外の課題を追究したい学生は事前に申し出ること。

2. 授業の到達目標

1. テーマ設定、資料収集、論の構成の基礎的方法を修得する。
2. 発表・討論の仕方を修得する。
3. そして、この過程で、4年次の卒業論文の課題を見つける。

3. 成績評価の方法および基準

発表・討論の内容(50%)、レポート(50%)によって評価する。出席は当然のことである。

4. 教科書・参考文献

教科書

資料を配布するため、特にテキストはない。

5. 準備学修の内容

帝京大学図書館を大いに利用する。また、考古学実習室に発掘調査報告書があるので、それも利用する。

6. その他履修上の注意事項

教室内の遺物や資料の扱いには気をつけること。また、それらの教室外への持ち出しは厳禁とする。初回の授業でグループ分けを行うので、必ず出席すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 履修届提出後、グループ分けを行い、発表の順番を決める。課題の検討。
- 【第2回】 阿部模擬発表、その後、各グループで課題の討議を行う。
- 【第3回】 1・2班発表、質疑応答。
- 【第4回】 3・4班発表、質疑応答。
- 【第5回】 5・6班発表、質疑応答。
- 【第6回】 7・8班発表、質疑応答。
- 【第7回】 9・10班発表、質疑応答。
- 【第8回】 11・12班発表、質疑応答。
- 【第9回】 1・2班発表、質疑応答。
- 【第10回】 3・4班発表、質疑応答。
- 【第11回】 5・6班発表、質疑応答。
- 【第12回】 7・8班発表、質疑応答。
- 【第13回】 9・10班発表、質疑応答。
- 【第14回】 11・12班発表、質疑応答。
- 【第15回】 個人発表、質疑応答。